

古事記
編さん
1300年

高千穂の夜神楽を体感する。

国の重要無形民俗文化財に指定されている「高千穂の夜神楽」を生で見よう。

観光 神楽

高千穂神社 神楽殿

よりすぐりの四番を毎日奉納

神楽のシーズン以外でも広く観賞出来るようにと始まった、神楽初心者でも気軽に楽しめる『観光神楽』。全33番の中から代表的な4番だけが披露される、高千穂夜神楽の名場面がギョッと詰まった短縮版。

里神楽の舞手が日替わりで奉納する本格的な舞が人気。日によっては、立ち見の可能性があるので、早めに行って受付するのがおすすめ。



高千穂神社 神楽殿

インフォメーション

予約不要
カメラ持込可
毎日奉納

日時: 毎日20:00~21:00
会場: 高千穂神社 神楽殿
拝観料: 500円

お問い合わせ: 高千穂町観光協会
☎0982-73-1213

カメラは基本的に持ち込みOK!
撮影時は周りの方の迷惑にならないようにマナーを守りましょう。

観光神楽で奉納される4番



24番
手力雄の舞
タカラ

▲天照大神がお隠れになった天の岩戸を探するため、静かに音を聞いたり、考えたりするところから、岩戸を発見する様子が表現されている。



25番
細女の舞
ウズメ

▲見つめた岩戸の前で、天照女命(アメノウズメノミコト)がおもしろおかしく踊り、天照大神を誘い出そうとする場面。



26番
戸取の舞
トトリ

▲外の様子が気になり、岩戸の隙間から様子を伺った瞬間、手力雄命(タチカラオノミコト)が力強く岩戸を持ち上げ、放り投げる勇壮な舞!



20番
御神跡の舞
ゴンタイ

▲「国生み・神生み伝説」で語られる、国づくりの為に降り立った男神「伊弉諾尊(イザナノミコト)」と女神「伊弉冉尊(イザナノミコト)」が仲良く酒を作り、飲みかわし、抱き合いながら夫婦円満を象徴。途中、酔ったイザナギが女性を誘おうと客席をまわり、それをイザナミが静止するという場面もあり、客席も一緒に楽しめる!

※上記画像は奉納順

高千穂に伝わる 伝統文化にふれる 里神楽

高千穂町内民家他

夜通し奉納される33番



毎年11月中旬から翌年2月にかけて33番の舞が夜を徹して奉納される



▲初穂料は2千円〜3千円程度。寸志は地元産のお酒を2〜3本程度が目安。

国の「重要無形民俗文化財」に指定されている「高千穂の夜神楽」。秋の爽りに対する感謝として翌年の五穀豊穡を祈願する伝統的な神事で、町内20地区で毎年11月中旬から翌年2月にかけて33番の舞が夜を徹して奉納されます。

夜神楽は、昼すぎから行われる神事のち、道行神楽(御神幸)道をねりあるく(を)しながら神楽宿に舞入れ(神楽宿に迎え入れ)、17〜18時頃から始まり、空がうす明るくなり始める夜明けに終盤を迎えます。

夜神楽観賞の心得

【まずは事前準備!】

- ・神楽の日程、場所は変更になる場合あり!事前にしっかり問い合わせましょう。
- ・初穂料は2,000〜3,000円程度、寸志は地元産のお酒を2,3本程度が目安。(後継者育成などにあてられます。)
- ・ほぼ野外と同じなので、毛布や寝袋などの防寒具や懐中電灯を持参しましょう。
- ・一般客の「ふるまい」は基本的に行けられないので、食事は各自で準備しましょう。
- ・神楽宿では宿泊はできません。仮眠や宿泊が必要な場合は、各自で手配しておきましょう。
- ・神楽宿に十分な駐車スペースが無い事があるため、できる限り公共機関を利用しましょう。

【観賞時のマナーをしっかり守ろう!】

- ・神楽を舞う「神庭(こうにわ)」は、古いシキタリにより女性が立ち入る事ができません。神聖な場所なので注意しましょう。
- ・夜神楽は神事!神前参列の気持ちで拝観しましょう。
- ・撮影の際のフラッシュや三脚は、各地域のルールにしたがって使用しましょう。
- ・携帯電話の使用は、周りの方の迷惑にならないように配慮しましょう。

インフォメーション

詳しい日程や夜神楽情報はホームページをご覧ください!
<http://www.town-takachiho.jp/>
<http://www.town-takachiho.jp/ii/> (携帯電話用サイト)
お問い合わせ: 高千穂町企画観光課 ☎0982-73-1212
高千穂町観光協会 ☎0982-73-1213

マナーを
しっかりと
守ろう!

守ってね!



うずめちゃん

高千穂限定 彫り物ストラップ

・うずめちゃんボールペン 420円
・うずめちゃんストラップ 420円

夜神楽にまつわる彫り物を、宮崎杉を使ってひとつひとつ丁寧に手仕上げして温かさを感じられるストラップに。高千穂ならではの土産として喜ばれている商品。

530円 総柄8種類(男の色各3色:赤・黄・紫)

高千穂関連書籍



国の重要無形民俗文化財に指定されている「高千穂の夜神楽」が、写真とともに解りやすく解説されている一冊。夜神楽鑑賞初心者の方でも楽しめます!

高千穂の主な神社25社を紹介。各神社の御祭神にまつわる神話や御利益が記されているほか、テーマ別の神社巡りコース紹介等もあり、高千穂を満喫したい方は必見!

グッズ販売店

【高千穂峡・高千穂町観光協会直営売店】
住所: 高千穂町三田井964 (高千穂峡内)
営業時間: 8:30~17:00
☎0982-72-2457



【高千穂町観光協会 まちなか案内所】
住所: 高千穂町三田井803-2 (バスセンター斜め前)
営業時間: 8:30~17:30
☎0982-72-3031



【雲海茶屋】
住所: 高千穂町押方6450-3
営業時間: 8:30~17:00
☎0982-72-5345



神楽面の彩色体験

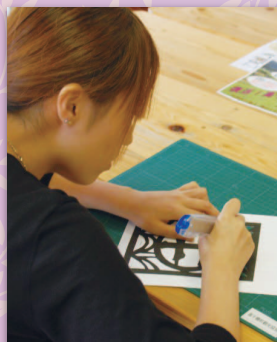


インフォメーション

料金: 2,500円(材料費込み)
所要時間: 40分
人数: 2名~20名
実施場所: 岩戸 高千穂焼工房
備考: 予約は1週間前まで、盆・正月は受入不可
☎0982-73-1800

観賞用の素焼きの神楽面に赤、黒、金色を塗ります。体験者の個性が出るため、色付けする前後で面の表情が異なってみえます。神楽の里ならではの土産づくりに挑戦してみてください!

彫り物体験



インフォメーション

料金: 1,000円(材料代・保険料込み)
所要時間: 1時間
人数: 1名~5名
実施場所: まちなか案内所
備考: 小学生未満は不可、当日受入可
☎0982-73-1800

彫り物(えりもの)は、夜神楽の舞台である「神庭(こうにわ)」を囲むように掛けられる切り絵のような飾りのことです。体験では比較的簡単な「木火土金水」のいずれかの文字を刻みます。高千穂独特の文化に触れてみてください。

おすすめ 体験メニュー



天岩戸夜神楽33番大公開まつり



インフォメーション

日時: 平成24年11月3日(土)
10時~22時
場所: 天岩戸神社 西本宮
住所: 高千穂町岩戸1073-1
☎0982-74-8239

天照大神がお隠れになった天岩戸を御神体としてお祀りする天岩戸神社西本宮で夜神楽33番の舞が奉納される。毎年、町内外から多くの人が訪れ、夜神楽を堪能する。

神話の高千穂夜神楽まつり



インフォメーション

日時: 平成24年11月22日(木)
18時~22時
平成24年11月23日(金)
10時~23時
場所: 高千穂神社 神楽殿
住所: 高千穂町三田井1037
☎0982-72-2413

11月22日は「式三番」と呼ばれる舞を中心に岩戸神楽の奉納。23日は神楽33番を朝から夜まで奉納します。里神楽を夜通し見学出来ないという方にもおすすめ。

おすすめ 体感イベント

